

北海道のダム

Vol.4



春の静内ダム

Photo:
Tsukasa Hagino

■はじめに

本書を手にとって頂きありがとうございます。
「北海道のダム Vol.1~3」に続き「北海道のダム Vol.4」を作成しました。
前回の Vol.3 公開から少し時間が空いてしまいましたが・・・。

この「北海道のダム Vol.4」は、2015年に訪問したダムの中から、Vol.1~3で紹介しなかったダムをピックアップしています。
日本最北端の北辰ダム、日本最大の湛水面積を持つ雨竜第一ダムなどを紹介しています。

以前から書いていますが、私はダム専門家ではなく、プロのカメラマンでもありませんので、ダムの知識的な部分や、写真や文章でお見苦しい部分があるかもしれませんが、この本書を見て少しでもダムに興味を持ってくれる人が増えてくれれば幸いです。

萩野 司



建設中のサンルダム（下川町）

- ◆本書は個人で作成しており、ダムの管理者・施工業者等とは一切関係がございません。
また、ダム建設、ダムの存在の賛否を行うものではございませんのでご了承ください。
- ◆写真撮影について
基本的に立入禁止区域内での撮影は行っておりません。
立入禁止区域での撮影の際は、許可を得て撮影を行っております。
- ◆ダム見学はマナーを守り、怪我などをしないよう十分注意し、楽しく行いましょう



佐幌ダム

南富良野から狩勝峠を帯広方面に向かう途中にあるサホロリゾート近くにある重力式コンクリートダムです。

常用の洪水吐の減勢工と非常用の減勢工が別々になっている珍しい形式でもあります。

ダム近くにあるサホロリゾートは、スキー場やゴルフ場などもあるリゾート地となっており、夏冬問わず観光客が訪れるスポットとなっています。

また、ダム湖周辺もキャンプ場やフィッシングデッキ、ボートやカヌー乗り場があり、冬場はワカサギ釣りなども楽しめます。

近くには屈足ダム、岩松ダム、十勝ダムなどもありますので、訪問の際は一緒に巡ることをお勧めします。

ダムデータ

所在地：北海道上川郡新得町字新内西1線

河川名：十勝川水系佐幌川

型式：重力式コンクリートダム

目的：F

堤高：46.6m

堤頂長：255m

総貯水容量：10400千 m^3

管理者：北海道

本体着工：1970年

完成年：1984年

ダム湖名：サホロ湖



上ノ国ダム

道南上ノ国町にある重力式コンクリートダムです。水道用及び、灌漑用に作られ、2002年に完成しました。

上ノ国町中心部から東へ数キロ進んだ山の中にあります。

ダム直下へ行くことはできないようですが、天端は解放されている為、自由に歩くことができます。

また、天端が折れ曲がっているのも特徴の一つです。

ダム湖名は「あすなろ湖」で、一般公募で命名されました。

ダムデータ

所在地：北海道檜山郡上ノ国町内郷地先

河川名：天野川水系目名川

型式：重力式コンクリートダム

目的：FNAW

提高：51.3m

堤頂長：247.9m

総貯水容量：3730千 m^3

管理者：北海道

本体着工：1985年

完成年：2002年

ダム湖名：あすなろ湖



大榎ダム

留萌郡小平町に洪水調整、灌漑用に作られたアースダム。

アースダムではありますが、重力式コンクリートダムのようなコンクリートでできた幅の広い洪水吐があり、堤体の上流側には石が敷き詰められロックフィルダムの様にも見え、あまり無いタイプのアースダムとなっています。

堤体の芝生も手入れされており、天端も自由に見ることが出来ます。

この様なタイプのアースダムはあまり見かけることが無いと思いますので、ダム好きの方には是非見て欲しいダムです。

ダムデータ

所在地：北海道留萌郡小平町字大榎

河川名：大榎子川水系大榎子川

型式：アースダム

目的：FA

堤高：34m

堤頂長：124m

総貯水容量：1729千 m^3

管理者：北海道

本体着工：1983年

完成年：2003年



幌満川第3ダム

様似町幌満川上流にある、一般会社が所有している発電専用ダムの「幌満峡第3ダム」です。

この付近はアポイ岳ジオパークの幌満峡エリアの一角となっていて、美しい渓谷にもなっています。

様似町内各場所がジオパークエリアとなっており、散策も楽しむことができます。

非常に景色の良い場所ではありますが、ダムへの道のりは悪路で急勾配の場所もあり、また落石の恐れもある為、通行には十分な注意が必要です。

このダムの下流にもいくつかの発電用の堰堤がありますので、ダムへ向かう途中に見ることができます。

ダムデータ

所在地：北海道様似郡様似町字大泉

河川名：幌満川水系幌満川

型式：重力式コンクリートダム

目的：P

提高：42.5m

堤頂長：186.3m

総貯水容量：15379千 m^3

管理者：日本電工(株)

本体着工：1952年

完成年：1954年



北辰ダム

日本最北端に位置するロックフィルダムの『北辰ダム』です。

水道用水用のダムで、稚内市が管理しています。

舗装された道が続くため、車での移動は訪問しやすいダムですが、稚内市中心部からはかなり離れていて、日本最北端の宗谷岬からもかなり南の場所に位置します。

ダム堤体も芝生が整備されていて見た目も美しいダムですが、残念ながら貯水池やダム堤体付近は立入禁止となっている為、ダム手前からのみしか見ることができません。

ダムデータ

所在地：北海道稚内市大字声問村字上声問

河川名：声問川水系タツニウシュナイ川

型式：ロックフィルダム

目的：W

堤高：32m

堤頂長：180m

総貯水容量：6700千 m^3

管理者：稚内市

本体着工：1976年

完成年：1980年

ダム湖名：北辰貯水池



羽幌ダム

羽幌町の東にある、かつての炭鉱の町を支えたダム、『羽幌ダム』です。

ダムへ向かう道の入口には、羽幌炭鉱跡地の巨大な立坑とホッパがあり、そこから8キロほど東に行くと羽幌ダムへ行ることができます。

ダムへ向かう道は砂利道となっていて、所々崩れかかっている場所もあるので、走行には十分な注意がひつようです。

奥地にあるにも関わらず、芝生は綺麗に整備されていて、非常に美しいダムでもありますので一度は足を運んで頂きたいダムでもあります。

また、近くには羽幌二股ダムもありますが、こちらは通行止めとなっていて車では訪問することができないようです。

ダムデータ

所在地：北海道苫前郡羽幌町国有林 142 林班

河川名：築別川水系三毛別川

型式：アースダム

目的：A

堤高：27.8m

堤頂長：108.4m

総貯水容量：3300 千 m^3

管理者：北海道開発局農水部

本体着工：1959 年

完成年：1966 年

ダム湖名：羽幌貯水池



雨竜第一ダム

湛水面積日本一の大貯水池「朱鞠内湖」を持つ、『雨竜第一ダム』です。北海道土木遺産にも登録されています。

この雨竜第一ダムと雨竜土堰堤の2つからなる朱鞠内湖は日本で一番の湛水面積を持つ湖となりました。

ダム付近は立入禁止となっておりますが、ダム横にある展望台付近から天端を見ることができます。

この朱鞠内湖と隣の宇津内湖は朱鞠内道立自然公園にも指定されています。

朱鞠内湖は、キャンプ場や釣り、宿泊施設などが整備されており、冬場はワカサギ釣りを楽しむことができます。

また、朱鞠内湖がある幌加内町は蕎麦の生産でも有名な地域ですので、訪問の際はダムと蕎麦、合わせて楽しんで頂きたいと思えます。

ダムデータ

所在地：北海道雨竜郡幌加内町朱鞠内

河川名：石狩川水系太釜別川

型式：重力式コンクリートダム

目的：P

堤高：45.5m

堤頂長：216m

総貯水容量：244653 千 m^3

管理者：北海道電力

本体着工：1939年

完成年：1943年

ダム湖名：朱鞠内湖



静内ダム

桜で有名な静内町の上流にある発電用の重力式コンクリートダム「静内ダム」です。

上流には北海道最大の堤高を誇る高見ダム、下流には発電用の双川ダムがあります。

上流にある高見ダム、下流の双川ダムの3つのダムで調整しながら発電を行っています。

静内ダムは、桜で有名な二十間道路並木から更に東に15キロほど進んだ場所にあります。

ダム付近にもいくつか桜の木があるので、春先はダムと一緒に桜も楽しむことができます。

尚、上流にある高見ダムへの道は現在でも通行止めとなっていて、訪問することができません。

ダムデータ

所在地：北海道日高郡新ひだか町字高見

河川名：静内川水系静内川

型式：重力式コンクリートダム

目的：P

堤高：66m

堤頂長：207.5m

総貯水容量：29800千 m^3

管理者：北海道電力

本体着工：1959年

完成年：1966年

ダム湖名：静内調整池

■北海道のちょっと変わったダム

Vol.1～4で紹介できなかった珍しいダムや、ちょっと変わったダムをご紹介します。

●武利ダム（遠軽町）

見た目は普通のロックフィルダムですが、日本では唯一のアスファルトコアフィルダムです。



●砥山ダム（札幌市）

重厚な見た目と折れ曲がった堤体が特徴の重力式コンクリートダム。



●奥沢ダム（小樽市）

以前は小樽の水源として活躍していましたが、堤体の陥没により既にダムとしての役目を終えています。しかし、現在でも「階段式溢流路」は残っており、選奨土木遺産にも登録されています。



●双葉ダム（京極町）

北海道では唯一のアスファルトフェイスングフィルダム。全国的に見ても数少ない形式のダムです。残念ながらダム周辺は立入禁止で見通しも悪い為、写真はありません。

■あとがき

「北海道のダム Vol.4」を最後までご覧頂きありがとうございます。少し時間が空きましたがVol.1～3に続き、Vol.4を作成させて頂きましたが、この「北海道のダム」シリーズは一旦これで休止し、今後は他の形で紹介をして行きたいと思っております。北海道には、まだ様々なダムがあります。今後も活動の中でそれらのダムの紹介をし続けて行きたいと思っております。



西岡ダム（剣淵町）

撮影場所：北海道各地のダム
撮影期間：2013～2015年
参考文献：ダムの科学（一般社団法人ダム工学会）、ダムマニア（宮島咲）など
参考サイト：一般財団法人日本ダム協会

2016年3月4日

北海道のダム Vol.4

<http://p.booklog.jp/book/105163>

著者 : tsuka

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/tsuka-dam/profile>

著者のダム写真サイト : <http://damfan.blog.fc2.com/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/105163>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/105163>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブックログ